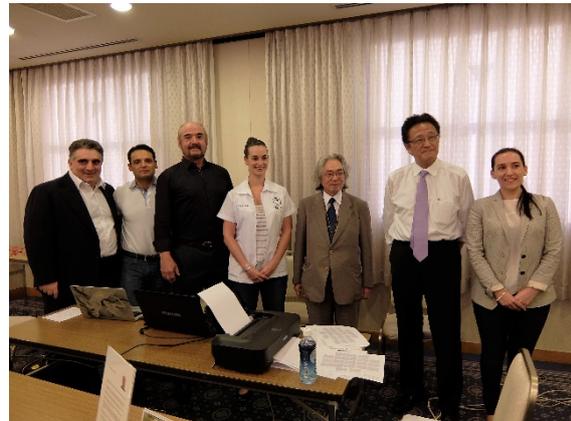


エデルフォ ニューロリカバリーセンター 世界中にいる「患者様の声」をきいてみよう！



2017年5月にエデルフォのアギラー医師が来日します。

この検査が日本で初めて導入されてから早4年一年2回来日するエデルフォチームは国内で主に自閉症と統合失調症の検査として知られています。その他にも認知&脳機能や神経系に関連する様々な疾病の検査も行っています。(注意欠陥多動性障害 (ADHD)、双極性障害、てんかん、失読症、糖尿病、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、パーキンソン病など) エデルフォ ニューロリカバリーセンターは、1987年 ルイス・カルロス・アギラー医師よりメキシコに設立され、今年で30周年を迎えます。現在ではメキシコ・ベネズエラ・アメリカに6つのセンターをもち、世界中から多くの患者が集まります。今回は世界各国でこの治療を受けている患者様の声(一部)をみなさんにご紹介したいと思います。

エデルフォ HP (英語・スペイン語) : <http://www.edelfo.org/site/index.php/en/>

● A様 アメリカ

「息子が自閉症と診断されてから最善な治療方法を必死に探していました。親であれば誰もが自分の子供に最善を尽くしたいと思うものです。多くの医師や神経学者・心理学者を訪ねましたが処方されるのはいつも抗精神病薬で、息子の『てんかん』の症状に対しても治療や処置は何もしてもらえませんでした。私たちは途方に暮れていると、ある医師からエデルフォを紹介されたのです。初めて診察を受けたとき、これこそ私たちが求めていた治療プロトコルだ！と思いました。アギラー先生とスタッフの方々は知識がとても豊富で、息子に対して優しく接し配慮を示してくれたのも嬉しかったです。エデルフォの治療のおかげで息子の『てんかん』は完治しました。以前は自分の世界に閉じこもっていましたが、受容能力の改善がみられ、現在では家族や周りの人たちとコミュニケーションをとり、一緒にアク

ティビティーをするのを好むようになりました。イライラも減り、現在は指示に従って行動出来ます。私たちは、エデルフォの治療が薬の副作用から息子を解放し、生きる希望を与えてくれたと強く感じています。アギラー先生には言葉では言い表せないほど感謝の気持ちでいっぱいです。メキシコチワワ州で集中治療を行った日々は、今となっては大切な思い出です。本当にありがとうございました。」

● B様 カラカス、ベネズエラ

「エデルフォセンターを初めて訪問したのは2012年の7月でした。多動性や注意障害を患う子供たちがこの治療で改善したことを知り、とても驚いたのを今でも覚えています。すぐにアギラー先生に診察の予約をしました。治療を開始してから服用量・服用方法を守り、その3ヵ月後、私たちの娘であるダナの症状に著しい改善がみられました。受容言語と注意力の改善、それに合わせて言語障害が改善しました。読書や算数にもその成果が出ています。私たちはエデルフォセンターに心から感謝しており、この治療の効果を実感しています。ダナの脳が完全に改善し普通の生活を出来るようになるのはもうすぐだと、私たちは確信しています。」

● C様 ペルー

「私は知人を通してエデルフォの治療を知りました。娘のイザベラ（当時2歳）は、脳室内出血（IVH）グレード3+により脳性まひを発症しており、ペルー国内の医師だけでなく、アメリカのマイアミこども病院にもかかりましたが、担当医師から『恐らくイザベラの病気は一生完治しないだろう。将来は歩行困難、言語障害、もしかしたら植物状態に近くなってしまいかもしれません』と言われ、私たちは絶望的になっていました。しかし、私たちは諦めることなどできず、最初は半信半疑でしたが、藁を掴む思いでエデルフォセンターのあるメキシコチワワ州に行ってみることにしたのです。最初の1週間に10の治療を受け、症状に少しの改善がみられました。驚いたのは、治療開始から2ヵ月後でした。イザベラの症状が著しく改善したのです。なんと、歩行困難で植物状態になると言われた彼女が自分一人で座れるようになり、またさらに2ヵ月がたつと、ハイハイをし始めたのです。私たちは信じられず目を疑いました。イザベラはやがて何かにつかまって立ち上がれるようになり、私たちとタッチが出来るようになりました。私たちは、私たちと同じ状況にいるすべての方々にこの治療方法を薦めます。もちろん、エデルフォの治療以外にも、理学療法・経口療法・作業療法なども同時に必要です。これらを併用していくことが完治への道だと思って

います。アギラー先生からは、治療を続ければイザベラの認知・身体機能はますます改善されるでしょうと言われていました。私たちはもう半信半疑ではありません。私たちはこの治療の素晴らしさを実感し確信しているのですから。」

● D様 プエブラ、メキシコ

「息子がエデルフォの治療を始めたのは、彼が2歳5か月（2011年）のころです。この治療を開始する前は、名前を呼んでも振り返らず、自分の世界にこもっている状態でした。身体を前後に揺らし、アイコンタクトもなし、社交性もなく自傷行為と言語障害がみられ、物事を順番通りに出来ませんでした。しかし、エデルフォセンターで3年間治療を続けた結果、私の息子は別人のように生まれ変わりました。現在では、アイコンタクトがみられ、他の子供たちと交流を持ち、物事を指示通り行うことが出来るようになりました。イライラも減り、発語もみられます。私たちはエデルフォセンターに心から感謝しています。エデルフォの治療のおかげで、息子は健常児と同じように生活することが出来るようになり、自閉症の症状の改善とともに生活の質も上がったからです。」

※来月5月にアギラー医師とエデルフォチームが来日し、検査と個別のコンサルテーションが受けられます。すでにお席はほぼ埋まっておりますが、あと2枠残っております。ご検討されているかたはお早目に弊社までご連絡ください。

また、5月13日（土）にエデルフォのアギラー医師がセミナーを開催致します。ご興味ございましたら弊社までお問合せくださいませ。（[詳しくはこちら](#)）



株式会社デトックス
電話：03-5876-4511
Eメール：info@detox.jp